

「全民労連」は戦争への道

中である。と、憲法改悪―自民党支持を公言する連
 がいい場合もあるかも知れない。
 とをいって、…自民党がやっていた方
 和という言葉が気になります。極端なこ
 「自動車労連・塩路」「平和憲法」の平
 変えていくというのが護憲の精神。
 あるわけで、現行憲法が不磨の大典でな
 い。その時々々の条件変化に応じて内容を
 さらには、推進者らは、
 「鉄鋼労連・中村」憲法にも改正条項が
 委員長・柳原のものである。同盟は、運
 動方針のなかで「わが国の安全は、自由
 陣営の協力を強化し、日米安保体制の堅
 持と防衛力の整備である」と公言してい
 る組織であり、「全民労連」はこの同盟
 が主導権を握ろうとしているのだ。

もつともつと兵器を作りたい。日本は
 戦闘機のエンジンだつて作れるだけの技
 術をもっている。
 右の発言は、同盟加盟の三菱重工労組
 委員長・柳原のものである。同盟は、運
 動方針のなかで「わが国の安全は、自由
 陣営の協力を強化し、日米安保体制の堅
 持と防衛力の整備である」と公言してい
 る組織であり、「全民労連」はこの同盟
 が主導権を握ろうとしているのだ。

「労働組合」づくり
 戦争と改憲に加盟する
 「労働組合」づくり

今回は、「全民労連」が一体どのような「運動」を行おうとしているのかを、
 「全民労連」の前身「全労協」の推進者らの発言、その「労働組合」の実態
 から見て具体的に分析したい。

右翼労働戦線「統一」問題を考える

その2

また、「全民労連」が加盟しようとする
 「国際自由労連」は、反共主義・帝国
 主義擁護、労使協定の立場にたち、戦争
 を賛美し、世界の労働組合を右翼的に分
 裂させてきた悪名高い組織である。
 つまり「全民労連」とは、「安保」推
 進、戦争協力、憲法改悪容認、自民党支
 持の運動を目指しているといわざるを得
 ない。

労働組合ならざる「労働組合」

では、その推進者の一人である日産労
 組の出身・塩路の職場はどうなっている
 のか？

「前略、私どもは日産の組合を日産大
 学、憲兵本部、労政局と呼んでいます。
 まず、日産大学から説明しましょう。日
 産で偉くなりたかつたら組合幹部になれ
 ということです。しかし幹部になるには
 だれでもなれるわけではなく、自分の個
 性を殺し、働く仲間同士の陰口を密告し、
 会社、組合の方針を忠実にこころより

「統一」どころか闘争組合の 排除・分裂を目指すもの

「全労協第二三回総会（本年八月）」
 のなかで、「（全労連を）右翼再編と
 きめつけ、誹謗・妨害する団体・組織に
 は毅然と対応する」とハッキリ公言して
 いる。つまり、右翼労働「統一」に抗し
 て労働運動の原則を貫こうとするもの
 を全面的に排除しようというのだ。

以下次号

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

会計監査員実地実施される11/14

1987年11月14日

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋殿

国鉄千葉動力車労働組合

会計監査員 村田 茂雄

会計監査員 関 弘明

会計監査員 石 幡 佳和



会計監査報告書

1987年度第2-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところによ
 り会計監査を実施した結果、金銭、帳簿に不正にもとづく事実の無いことを
 確認し、下記のとおり報告します。

記

1. 監査期日 1987年11月14日
2. 監査場所 国鉄千葉動力車労働組合本部事務所
3. 監査項目 (1) 予算執行の適否
(2) 経費支出内容の適否
(3) 物品購入価格および方法の適否
(4) 消耗品使用の適否
(5) 財産および備品管理の適否
(6) 現金および預金の確認
(7) その他必要と認める事項
4. 確認事項 1987年11月14日現在の預金、現金、証券類の確
認
5. 意見

1987年度第2-四半期会計監査については、会計規則第53条の定
 めに従い監査を行った結果、不正にもとづく事実のなかったことを証明し
 ます。

組合費の納入状況、有価証券などの管理、帳簿類 整理はおおむね良好
 でした。

印モレが2-3見受けられましたが、諸会議へ出席する際印鑑を持参す
 るよう指導されたい。

JR当局の攻撃は賃金差別・昇給延伸をはじめ多くの処分攻撃として現
 出するなかで、組合財政は厳しい状況にあります。財政基盤の確立のため
 に今後とも関係役員の努力を期待します。

以上



87.11.18

No. 2705

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
 （鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七